

レポートの文献リストの書き方

レポート作成のために引用、参照した文献は、すべて最後に、参考文献、引用文献、参考・引用文献などとしてリストにします。

レポートなどで提示される新しい知見は、全て先人の研究などの功績の上に成り立っています。先行研究に敬意をはらうために、また、先行研究や資料に基づいて論じることで説得力を増したり、^{ひょうせつ}剽窃を避けたりするためにも、レポート中に引用や参照した文献をリストにし、読み手に明らかにしましょう。

このハンドアウトでは、文献リストの書き方についてのみ説明するので、引用のしかたについては、ハンドアウト「引用のしかた」で詳細を確認してください。

剽窃とは？

…他人の文章を自分の文章かのように書き、他人の文章を盗む行為。

参考文献をあげていなかったり、引用を適切にしていなかったりすると、他人の文章（考え）と自分の文章（考え）の区別がなくなり、仮にそのつもりがなかったとしても他人の文章を盗んだことになってしまいます。多くの場合、剽窃をしたレポートは採点の対象外になります。

文献リストの書き方には細かな決まり事が多くあり、分野によっても異なります。レポートを書く時には、各課題の指示にしたがってください。文献リストの書き方に指示がない場合は、先生に指定の形式がないかを確認したり、課題が出た授業の分野や、担当の先生の論文などを参考にしたりするとよいです。

レポートの書き方についての書籍を参照するのも良い方法です。学習支援センターにもたくさんのレポートの書き方に関する書籍があります。自分にとって使いやすい書籍を見つけ、購入することをおすすめします。

【文献リストの決まり事】

文献リストにする場合、本文中の引用箇所では著者の名字と発行年だけを示し、文献リストで文献情報の詳細を記載します。

例) 田中は、…と述べている (田中、2020)。

田中 (2020) は…と述べている。

1. 文献リストの場所と順番

文献リストの場所	すべての文献を一括して本文の後ろで記載する。
文献リストの順番	文献リストの順番は、著者名・編者名を五十音順（日本語の文献の場合）か、アルファベット順（英語の文献の場合）に記載する。日本語と英語の文献が混合する場合は、日本語文献もアルファベット順にする。または、見やすいように、日本語文献と英語文献で分けて記載することもある。

※文献リストではなく、引用箇所に注番号をふり、脚注に文献情報の詳細を記載する場合があります

以上のことから、○○であることが明らかになった。本稿で論じることができなかった△△については、今後の課題とする。

参考文献
田中太郎 (2022) 『○○』△△出版。

12

……と田中は指摘している⁽¹⁾。しかし、田中の論は、……の点を考慮していない。そこで、本稿では……について検討する。

2. ……
本章では、……について検討する。……

¹⁾田中太郎 (2022) 『○○』△△出版。 1

文献リスト…本文の後にまとめて記載する。

脚注…注番号をふったページの下部に記載する。

2. 文献リストに必要な情報

日本語の文献では、基本的には①著者名、②文献の題、③出版社、④発行年、⑤引用ページを書く必要があります。各分野や、著書、雑誌によって書き方が異なることもありますが、読んだ人がレポートで参照された文献にたどり着くために必要な情報が統一して書かれていることが大事です。以下を参考に、徐々に慣れていきましょう。

2. 1 資料の種類とそれぞれの書き方

◆書籍

著者名（発行年）『書籍名』出版社.

例) 井下千以子（2013）『思考を鍛えるレポート・論文作成法【第3版】』慶応義塾大学出版会.

◆論文

・雑誌

著者名（発行年）「論文名」『雑誌名』巻数、ページ数.

例) 花田孝（1986）「小学校入学時の学力に影響を及ぼす社会経済的要因分析」『松島大学人間科学部紀要』87、pp.18-20.

・論文集

著者名（発行年）「論文名」『論文集名』出版社、ページ数.

例) 渡辺正他（1764）「社会科新分野における授業展開例」『授業研究』双葉出版、pp.457-462.

◆新聞

新聞名（発行年）日付朝／夕刊「記事名」.

例) 日本経済新聞（2022）5月26日付朝刊「JAXA 退職 「後輩に道譲る」 宇宙飛行士の野口さん」.

◆インターネット

機関名（更新年）「記事名」（URL）（最終閲覧日）.

例) 広島修道大学（2022）「学長メッセージ」（<https://www.shudo-u.ac.jp/information/message.html>）（2022年5月26日閲覧）.

ポイント

・著者名が複数の場合

2人の場合	3人以上の場合	編著の場合
著者名の中に中黒（・）を入れる。 田中太郎・鈴木一郎（2022）『…』…	筆頭著者名を書く。 田中太郎他（2022）『…』…	編者名や機関名のあとに「編」をつける。 広島修道大学編（2022）『…』…

・文献が改訂、再版されている場合

発行した年度を書き、改訂した場合はその年を書きます。再版の場合も改訂がなければ初版の年を書きます。

・インターネットの情報の場合

Wikipedia や個人ブログなど、誰が書いたか不明確で信ぴょう性の低いものは避けます。また、インターネットで見つけた論文や新聞記事は、インターネットではなく、紙媒体の論文や新聞の書き方にならって書きます。

文献リストの書き方の例

① 五十音順の場合

参考文献

明石屋いわし (2012) 『はなかつおの研究』 佃煮出版.

岡田紋次郎 (2010) 『アイドルの日常研究』 ゴシップ出版社.

後藤あゆみ (2015) 「大学教員の歌唱力比較調査」『狭島大学紀要』 3、pp.23-35.

② アルファベット順の場合

参考文献

麻生二郎 (2017a) 『派閥の悲劇』 行政大学出版会.

麻生二郎 (2017b) 「大臣の人間性から探る政治史」 小泉赳夫編『日本の行方』 政府出版.

Clinton, Billy (2025) *Desirable Relationship of the Married Couple*, American Politic Press.

土肥昭子 (2000) 『日本戦後史』 穴明出版.

江原小二郎 (2013) 『兄弟関係が政治ダイナミクスに及ぼす影響』 物見堂.

【参考文献】

井下千以子 (2019) 『思考を鍛えるレポート論文作成[第3版]』 慶應義塾大学出版.

独立行政法人科学技術振興機構 (2007) 『科学技術情報流通技術基準 参照文献の書き方 SIST 02 – 2007』 独立行政法人科学技術振興機構 (<https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12003258/jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST02-2007.pdf>) (2022年8月24日閲覧)